【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2007-64401(P2007-64401A)
【公開日】平成19年3月15日(2007.3.15)
【年通号数】公開・登録公報2007-010
【出願番号】特願2005-252198(P2005-252198)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　55/224　(2006.01)
Ｆ１６Ｄ　65/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　55/224　１０６Ｂ
Ｆ１６Ｄ　65/02　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月26日(2008.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
メインピン取付部とサブピン取付部とを有するブラケットと、該ブラケットのメインピン取付部とサブピン取付部とに対応するメインピン挿通部とサブピン挿通部とを有するキャリパと、該キャリパによってディスクの両面に押圧される一対の摩擦パッドと、前記キャリパのメインピン挿通部に挿通されて前記ブラケットのメインピン取付部に取付けられたメインピンと、前記サブピン挿通部に挿通されて前記サブピン取付部に取付けられ該メインピンと一緒に前記キャリパをディスクの軸方向に移動可能に支持するサブピンとを備えたディスクブレーキにおいて、
前記ブラケットのサブピン取付部と前記キャリパのサブピン挿通部のうち何れか一方の部材には、前記サブピンを取外した状態で前記メインピンを中心として前記キャリパを回動させるときに、前記サブピン挿通部を前記サブピン取付部に向けて案内するガイド部を設ける構成としたことを特徴とするディスクブレーキ。
【請求項２】
前記キャリパのサブピン挿通部は、前記キャリパに設けられたピン挿通穴内に軸方向に移動可能に挿通され端面が前記ブラケットのサブピン取付部に当接する筒状のカラーであり、前記サブピンは、該カラーに挿通されて前記サブピン取付部に取付られる構成とし、前記ガイド部は、前記サブピンが取付けられる前に前記カラーの軸方向位置を前記サブピン取付部に合せるテーパ面として構成してなる請求項１に記載のディスクブレーキ。
【請求項３】
前記カラーの外周側には、前記ブラケットのサブピン取付部に近い部位が略円錐状の伸縮部となった保護ブーツを設け、前記サブピン取付部の前記カラー当接面またはこれと平行な基準線に対する前記ガイド部の傾斜角は、前記保護ブーツの伸縮部の輪郭に沿った仮想線の傾斜角よりも小さな角度に設定する構成としてなる請求項２に記載のディスクブレーキ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
上述した課題を解決するために本発明は、メインピン取付部とサブピン取付部とを有するブラケットと、該ブラケットのメインピン取付部とサブピン取付部とに対応するメインピン挿通部とサブピン挿通部とを有するキャリパと、該キャリパによってディスクの両面に押圧される一対の摩擦パッドと、前記キャリパのメインピン挿通部に挿通されて前記ブラケットのメインピン取付部に取付けられたメインピンと、前記サブピン挿通部に挿通されて前記サブピン取付部に取付けられ該メインピンと一緒に前記キャリパをディスクの軸方向に移動可能に支持するサブピンとを備えたディスクブレーキに適用される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
また、請求項２の発明によると、前記キャリパのサブピン挿通部は、前記キャリパに設けられたピン挿通穴内に軸方向に移動可能に挿通され端面が前記ブラケットのサブピン取付部に当接する筒状のカラーであり、前記サブピンは、該カラーに挿通されて前記サブピン取付部に取付けられる構成とし、前記ガイド部は、前記サブピンが取付けられる前に前記カラーの軸方向位置を前記サブピン取付部に合せるテーパ面として構成している。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、請求項３の発明によると、前記カラーの外周側には、前記ブラケットのサブピン取付部に近い部位が略円錐状の伸縮部となった保護ブーツを設け、前記サブピン取付部の前記カラー当接面またはこれと平行な基準線に対する前記ガイド部の傾斜角は、前記保護ブーツの伸縮部の輪郭に沿った仮想線の傾斜角よりも小さな角度に設定する構成としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
また、請求項３の発明によれば、サブピン取付部のカラー当接面またはこれと平行な基準線に対するガイド部の傾斜角を、保護ブーツの伸縮部の輪郭（外形プロフィール）に沿った仮想線の傾斜角よりも小さくすることができる。これにより、例えば軸方向に位置ずれしたカラーがガイド部に近接したときには、保護ブーツの伸縮部がガイド部に当接する前に、カラーの端部側をガイド部に当接させることができる。